

	問5 (質問) S028 成田先生	回答
1	今回の試験で自分が作ったルーブリックは妥当性や客観性があるのかということはどうすればわかるのでしょうか？これまでも自分なりの観点で作文評価をしてきましたが、今回の作ったルーブリックが自分の主観に基づいていないと言い切れる自信がないのですが・・・。	試験課題と同じ作文を書いてもらい、作ったルーブリックで評価してみてください。そして他の先生と話し合いながら、どのルーブリックにも該当しない作文がないか、実際の作文の完成度（働いた技能の程度）と合っているかなどについて検討してみてください。誰であっても、はじめから完全に客観的で、妥当性と信頼性の高いルーブリックを設定することは難しいと思います。面倒でも設定と検討をくり返すしかないと思います。
2	作文の評価方法は本当に難しいと感じる部分も多いですが、実際に子ども達に書かせる場面でも指導の難しさを感じます。書くことを苦手とする子ども達に対して、どのような取り組みがあれば、書くことが楽しいと思えるのか…そのような研修等もあれば参考にしたいと思います。	書く必要感が湧く工夫が必要だと思います。書いた作文を誰が読んで、何のために役立つのか、具体的な目的と相手が含まれる活用場面を用意することだと思います。つまり、現実のプロンプトを用意することではないでしょうか。

	問6 (意見) S028 成田先生	回答
1	できれば、スライドの内容も添付資料にして配布していただきたかったです。	次年度は検討します。今年度には実施できずすみませんでした。
2	非常に実践的な内容で大変参考になりました。ただ、一日だけの講習で今回の評価が簡単にできるようになるわけではなく、やっぱり作文の評価は時間がかかるものだと感じました。できるだけ簡便に評価できるものとしてルーブリックに期待しましたが、ルーブリックを独自に作るまでに時間がかかるので、実力テストの作文採点にかかる時間とあまり変わらないと感じてしまいました。ただ、今回の講習を聴いて、これからはサンプルを蓄積していこうと思いました。	今回の講習は、方法を体験していただいたということになります。実際には、今回のようなルーブリックの設定やサンプルの収集・分析をくり返ししながら、できれば他の先生方と協議する必要があります。すると、学年ごとや文種ごとにルーブリックが蓄積され、指導事項ごとにその具体的な表れとしてのサンプルが蓄積され、先生もなれてきて効率が上がってくるものと思います。
3	作文評価の仕方が曖昧であり、とても主観的な評価をしていたと改めて痛感しました。本講習で学んだことを、日々の実践でも少しでも活用していきたいと思っています。ありがとうございました。	回答を書いてくださり、ありがとうございました。活用していただいて役立つ点があれば、幸いです。